

2011-A			
国際機関名 (英語略称):		アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN)	
英文名称:		Asia-Pacific Network for Global Change Research	
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <u>その他</u>
【所管官庁担当局課・室名】: 環境省地球環境局総務課研究調査室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】 本部事務局は兵庫県神戸市。地球環境とその変動に関して、「南北アメリカ」、「アジア太平洋」の地域において、国際研究ネットワークが展開中。このうち「アジア太平洋」については、日本が中心となり、共同研究及び科学的能力の向上等を目的としてAPNが設立(平成8年)された。現在22ヶ国が参加。APNの活動の成果は様々な国際会議の場で政策決定者に発信され、国際的にも高く評価されている。平成21年度には、過去5年間の活動の評価を実施し、その結果を基に、活動の強化及びAPNの体制の合理化等を目的とした第3次戦略計画(平成22年度より5年間)を策定し実施中。また近年は年平均40件程度の国際共同研究・プログラムに支援が行われるなど、国際的な支援体制も強化されてきており、組織、活動内容、資金源のいずれをとっても、準国際機関としての性格が確立されたと認識。アジア太平洋地域では、APNによる研究・評価者となることが研究者の一種のステータスとされている。平成24年度からは我が国環境省が推進する低炭素分野、適応分野における活動を重点化し、平成25年度には気候変動による損害と被害(ロス&ダメージ)を含む気候変動適応分野の共同研究を推進する特別枠を設置した。			
【当該国際機関の財政(2011年決算)】			
当該年度の総収入額: 266, 255千円			
当該年度の総支出額: 251, 885千円			
次年度への繰越額: 14, 341千円			
会計検査機関名: 新日本有限責任監査法人 (現在の構成員の出身国: 日本)			
【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%) (注)
1位	日本(環境省)	2176	77.2 %
2位	兵庫県	319	11.3 %
3位	米国	263	9.3 %
4位	韓国	42	1.5 %
5位	ニュージーランド	18	0.6 %
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【当該国際機関で働く邦人職員】			
邦人職員数		5 人	当該機関全体の職員数
うち幹部以上		うち 3 人	及び邦人職員が占める率
			10 人
			50 %
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称		職 員 氏 名	備 考
APNセンター長兼APN事務局長		竹本明生	環境省・兵庫県出向
事業課長		今成行裕	
管理課長		石津雅之	兵庫県出向
【注: 当該国際機関の会計年度】			
米国など一部の拠出国の会計年度とは異なっているため、拠出率の扱いについては各国からの拠出時点における会計年度に計上。			